

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	研究法Ⅱ 21n201	担当教員 (実務経験)	佐久間 愛 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義・演習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	視能訓練士としての医学的な知見を共有・発展させる手法を学ぶ。				
到達目標	視能訓練士として研究発表や討議ができる。				
テキスト・ 参考図書等	プリント教材				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	①レポート40% ②小テスト10% ③記録の書き方50%		
	レポート	40%			
	小テスト	10%			
	提出物	50%			
その他	%				
履修上の 留意事項	①3年生の症例発表や国家試験問題、ケーススタディなどをもとに研究や討議、発表を行う授業。 ②自ら学ぶ姿勢を育成することを狙う授業のためレポートの提出が必須。期限厳守の上、提出すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	英語による実技1(専任教員)	眼科英語・パネル作成・アプリを使用した眼科検査		
	2	英語による実技2(専任教員)	眼科英語・パネル作成・アプリを使用した眼科検査		
	3	英語による実技3(専任教員)	眼科英語・パネル作成・アプリを使用した眼科検査		
	4	記録の書き方1(専任教員)	実習記録の書き方1		
	5	記録の書き方2(専任教員)	実習記録の書き方2		
	6	記録の書き方3(専任教員)	実習記録の書き方3		
	7	学会準備1(佐久間)	事前学習1		
	8	学会準備2(佐久間)	事前学習2		
	9	学会準備3(佐久間)	事前学習3		
	10	症例発表会1(専任教員)	症例発表の方法、症例発表会レポート1		
	11	症例発表会2(専任教員)	症例発表の方法、症例発表会レポート2		
	12	症例発表会3(専任教員)	症例発表の方法、症例発表会レポート3		
	13	症例発表会4(専任教員)	症例発表の方法、症例発表会レポート4		
	14	記録の書き方4(専任教員)	症例記録の書き方1		
15	記録の書き方5(専任教員)	症例記録の書き方2			

授業科目 (科目ID)	研究法Ⅱ 21n201	担当教員 (実務経験)	川岸 寿幸 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
対象年次・学期	2年・後期	担当教員	佐藤 幸恵
授業形態	講義・演習	(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	四宮 敦志
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	松田 理恵
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	山田 正幸
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	教養Ⅱ 21n202	担当教員 (実務経験)	高野 文子 人材育成会社を営しマナー教育に従事し、当該科目を担当する 別紙1参照 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	演習・実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	医療人としての接遇・マナーを身につける。				
到達目標	レセプト、データ管理の基礎について述べるができる。臨床現場で必要とされる教養・心構えを構築する。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル葵出版)、視能矯正学 改訂第3版(金原出版) 斜視・弱視診療アトラス(金原出版)、視能矯正 理論と実際(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	確認試験 ①高野40% ②米田60%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	実習やグループワーク、座学など、臨床現場で必要とされる知識・教養・心構えを構築するべく多岐にわたる授業。 各担当教員の評価方法をしっかり把握すること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	医療人のマナー1(高野)	訪問のマナー、おもてなしの心、接遇の基本、和洋室別の接遇		
	2	医療人のマナー2(高野)	テーブルマナーの基本、和洋食別のマナー、パーティーのマナー		
	3	医療人のマナー3(高野)	公共の場のマナー、お見舞いのマナー、手紙の書き方		
	4	医療人のマナー4(高野)	電話対応のポイント、電話対応の基本、携帯電話、敬語の使い方、実習前の心得		
	5	医療人のマナー5(高野)	マナー総合確認 ①		
	6	医療人のマナー6(高野)	マナー総合確認 ②		
	7	レセプト1(米田)	医療機関について、医療機関と薬局の関係、医療保障制度、医療保険の種類		
	8	レセプト2(米田)	保険給付 医科医療事務の仕事・日常業務・請求業務		
	9	レセプト3(米田)	診療費計算①		
	10	レセプト4(米田)	診療費計算②		
	11	レセプト5(米田)	医事コンを使った診療費計算		
	12	レセプト6(米田)	診療費計算③ 医事コンを使った診療費計算 まとめ		
	13	レセプト7(米田)	医療事務クラーク学科の学生の検査		
	14	レセプト8(米田)	眼科診療報酬点数計算		
15	レセプト9(米田)	まとめ 確認テスト			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	倫理学 21n203	担当教員 (実務経験)	東海林 公子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として医療に従事し、当該科目の教育を行う		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	16時間
授業目的	生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を養う。視能訓練士として医療現場で必要とされる倫理観を学ぶ。				
到達目標	高い倫理観をもった視能訓練士を目指す。				
テキスト・ 参考図書等	プリント教材				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート100%		
	レポート	100%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	プリントや板書を中心に講義形式の授業のためノートを作成すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	倫理学の基本的な考え方	伝統的倫理理論 ①古典的な倫理理論 ②西洋の倫理理論 ③東洋の倫理理論		
	2	現代社会と倫理	①なぜ倫理を学ぶのか ②倫理、道徳、法 ③現代の医療と倫理 ④職業倫理		
	3	医療をめぐる倫理の歴史的経緯と倫理	患者の権利とインフォームドコンセント		
	4	現代医療における様々な倫理的問題	①守秘義務の遵守と個人情報保護 ②本人の意思決定と代理意思決定 ③死をめぐる倫理的問題 ④脳死移植をめぐる倫理的問題 ⑤遺伝子診断・治療をめぐる倫理的問題 ⑥ターミナルケアとリビングウィル ⑦尊厳死と安楽死		
	5	医療専門職の倫理規定	①専門職と倫理 ②世界医師会・日本医師会の取り組み		
	6	医療実践における倫理問題への取り組み	①医療をめぐる倫理原則 ②倫理的ジレンマ ③倫理的問題への取り組み方、倫理的態度とは		
	7	実践場面での倫理的ジレンマ	事例		
	8	倫理的課題に取り組むための仕組み	①臨床倫理委員会 ②研究における倫理と研究倫理委員会		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	関係法規 21n204	担当教員 (実務経験)	西田 昌弘 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 弁護士として法律業務に従事し、当該科目の教育を行う		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	16時間
授業目的	視能訓練士の免許や業務及び法的責任や義務は「視能訓練士法」によって定められている。職務を正しく遂行するために正しい理解と遵守は欠かせない視能訓練士が専門職業人として、その職務を十分に果たすために「関係法規」を学び、それらの業務との連携・協働の必要性や意義を理解すること。				
到達目標	視能訓練業務や視能訓練士の資格等に係る法規を単独で、かつ相互に関連させて理解し説明できること。「医療法」と「薬事法」及び「地域保健法」の要点を理解し説明できること。医療分野や福祉等の関連分野の法規を学び、それらの業務との連携・協働の必要性や意義を理解し説明できること。				
テキスト・参考図書等	プリント教材				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	視能訓練士という資格が法律に基づいて作られたものであり、保健医療業務も社会制度や政策になったといわれる現在、その根拠となっている法規について正しい理解をもつことが、適切な視能訓練業務を提供するために必要であることを理解し、学習に励んでもらいたい。また、法規には、医学や視能訓練に関する学問とは異なる特有の考え方や表現があり、難解な面もあろうかと思うので、予習や復習に努めてもらいたい。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	法とは何か	視能訓練士が関係法規を学ぶ目的、法の意義、法の分類、法の解釈		
	2	視能訓練士法	視能訓練士法、視能訓練士法施行令		
	3	個別衛生法規と関連法規	医療法、医薬品医療機器等法		
	4	個別衛生法規と関連法規	医師法、保健師助産師看護師法等		
	5	個別衛生法規と関連法規	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
	6	個別衛生法規と関連法規	臓器移植法、母子保護法、高齢者の医療に関する法律、学校保健安全法、労働安全衛生法、生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法		
	7	医療ミスに対する責任、医療安全対策	民事上の責任、刑事上の責任、行政上の処分、医療安全対策		
	8	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセント		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	病理学Ⅱ 21n205	担当教員 (実務経験)	飯塚 正 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	病気になるということはどのようなことを理解する。				
到達目標	各疾病の原因、病態、治療、回復を専門用語で説明できる。				
テキスト・ 参考図書等	プリント配付				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験100%(中間試験+期末試験)		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	①プロジェクターを使用し、広範囲を早いペースで進むので、講義への集中と資料の整理整頓が望まれる。 ②中間試験を行うこともある。③配布したプリントは毎回持参すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	呼吸器疾患1	呼吸器の特徴、炎症性疾患		
	2	呼吸器疾患2	腫瘍性疾患、肺癌、転移性腫瘍		
	3	泌尿器疾患1	泌尿器の構造、機能		
	4	泌尿器疾患2	腎、膀胱の疾患		
	5	生殖器疾患1	生殖器構造、機能		
	6	生殖器疾患2	炎症、腫瘍性疾患		
	7	内分泌疾患1	内分泌器官の構成、特徴		
	8	内分泌疾患2	クッシング症候群、バセドウ病など機能亢進症と機能低下症		
	9	運動器疾患1	運動器構造、関節疾患		
	10	運動器疾患2	筋疾患、骨疾患		
	11	循環器疾患1	循環器の特徴		
	12	循環器疾患2	心臓、血管障害		
	13	循環器疾患3	脳の循環障害		
	14	消化器疾患1	消化器の構造、機能		
15	消化器疾患2	消化器の炎症性、腫瘍性疾患			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	高次脳機能障害学 21n206		担当教員 (実務経験)	向野 雅彦 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医師としてリハビリテーション業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数 16時間
授業目的	高次脳機能障害について学び、視覚の機能障害を高次脳機能障害からアプローチし、視能訓練士として眼科医療現場における検査・訓練の実際につなげる。				
到達目標	脳の局所障害により生じた注意、記憶、理解、言語、判断、遂行などの機能障害について学び、また認知障害(視覚形態の動きの認識、色失認、半側空間無視、相貌失認、Williams症候群、注意障害、記憶障害、学習障害等)も含め、障害の原因・病態・評価方法及びその訓練法を認識する。				
テキスト・参考図書等	プリント教材				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	①プリントや板書、パワーポイントを中心に講義形式の授業。 ②扱う題材が幅広いので欠席しないこと。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	リハビリテーション医学概論(向野)	総論・概論、治療的リハビリテーションアプローチ、代償的リハビリテーションアプローチ、環境改善的リハビリテーションアプローチ		
	2	高次脳機能障害概論(向野)	総論・概論		
	3	高次脳機能障害の病態と評価(澤村)	失語、失行、失認、記憶障害、注意障害、		
	4	高次脳機能障害の病態と評価(小川)	遂行機能障害、社会的行動障害		
	5	作業療法(小川)	総論と実際、高次脳機能障害とリハビリテーション		
	6	理学療法(由利)	総論と実際、高次脳機能障害とリハビリテーション		
	7	言語聴覚療法(辻澤)	総論と実際、高次脳機能障害とリハビリテーション		
	8	ソーシャルワーク(玉川)	総論と実際、高次脳機能障害者支援に対するソーシャルワーカーの役割		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

授業科目 (科目ID)	高次脳機能障害学 21n206	担当教員 (実務経験)	小川 圭汰 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 作業療法士としてリハビリテーション業務に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	2年・後期	担当教員	玉川 侑那
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーカーとしてリハビリテーション業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	澤村 大輔 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 作業療法士としてリハビリテーション業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	辻澤 陽平 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士としてリハビリテーション業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	由利 真 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 理学療法士としてリハビリテーション業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	薬理学 21n207	担当教員 (実務経験)	吉田 楓 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	眼科薬理を理解するために必要な薬理学基礎を学び、薬物治療の基礎を身につける。				
到達目標	一般的な薬物の作用機序と効果・副作用を学び、一般眼科診療で用いられる点眼薬、内服薬、縮瞳薬、散瞳薬について説明できる。またショックとその対応について述べることができる。				
テキスト・参考図書等	プリント教材、視能学 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂第13版(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	①吉田(定期試験70%+小テスト10%) ②笹本(提出物20%)		
	レポート	%			
	小テスト	10%			
	提出物	20%			
その他	%				
履修上の留意事項	小テストがあるため復習が必要である。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	溶液の濃度、化学式と化学反応、薬理学基礎(吉田)	薬物の作用についての概論 薬物受容体について		
	2	溶液の濃度、化学式と化学反応、薬理学基礎(吉田)	薬物の体内動態		
	3	溶液の濃度、化学式と化学反応、薬理学基礎(吉田)	薬物動態・薬物間相互作用		
	4	溶液の濃度、化学式と化学反応、薬理学基礎(吉田)	自律神経作用薬		
	5	溶液の濃度、化学式と化学反応、薬理学基礎(吉田)	体性神経作用薬		
	6	溶液の濃度、化学式と化学反応、薬理学基礎(吉田)	中枢神経作用薬		
	7	溶液の濃度、化学式と化学反応、薬理学基礎(吉田)	第1回～第6回までの復習 解説		
	8	眼科薬理(吉田)	抗アレルギー薬、抗ヒスタミン薬		
	9	眼科薬理(吉田)	高感染症薬 前回の復習 復習テスト講評		
	10	眼科薬理(吉田)	抗真菌薬、抗ウイルス薬、抗原虫薬、消毒薬		
	11	眼科薬理(吉田)	眼科外用薬全般		
	12	眼科薬理(吉田)	第8回～第11回 復習テスト 全体復習		
	13	眼科臨床薬理(笹本)	臨床で用いる眼科薬理、取り扱い、点眼等に関する留意点		
	14	眼科臨床薬理(笹本)	臨床で用いる眼科薬理、取り扱い、点眼等に関する留意点(点眼実習)		
15	眼科臨床薬理(笹本)	臨床で用いる眼科薬理、取り扱い、点眼等に関する留意点(点眼実習)			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	生理光学Ⅲ 21n208		担当教員 (実務経験)	山田 正幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義・実習		授業回数(1回90分)	23	時間数 46時間
授業目的	眼球光学・レンズ光学を学び、眼科検査・コンタクトレンズと関連づける。				
到達目標	眼鏡・コンタクトレンズの理論・特徴を理解し説明できる。眼光学の理論に基づいた屈折検査・コンタクトレンズに関わる検査業務ができる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、屈折異常とその矯正 改訂第7版(金原出版)、新しい眼光学の基礎(金原出版) プリント教材				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	75%	臨床コンタクトレンズ定期試験(山田)75% 基礎コンタクトレンズ(小テスト)10% 確認試験(山本)15%		
	レポート	9%			
	小テスト	10%			
	提出物	9%			
その他	15%				
履修上の留意事項	①プリントや板書を中心に講義形式の授業。②実習を通して理論と技術の習熟。③課題や宿題を課し、自ら学ぶ姿勢を育成することを狙う授業。 ④提出物は期限厳守の上、担当学生が一括してクラス担任に提出すること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	基礎コンタクトレンズ(専任教員)	コンタクトの基礎1		
	2	基礎コンタクトレンズ(専任教員)	コンタクトの基礎2		
	3	基礎コンタクトレンズ(専任教員)	視能訓練士の役割、理論と実際1		
	4	基礎コンタクトレンズ(専任教員)	視能訓練士の役割、理論と実際2		
	5	基礎コンタクトレンズ(専任教員)	コンタクトの基礎、視能訓練士の役割、理論と実際(体験実習)		
	6	基礎コンタクトレンズ(専任教員)	コンタクトの基礎、視能訓練士の役割、理論と実際(体験実習)		
	7	視機能検査(山田)	細隙灯顕微鏡 座学・実習①		
	8	臨床コンタクトレンズ(山田)	レンズ装脱、ケア方法、使用方法について 座学・実習		
	9	臨床コンタクトレンズ(山田)	装用時間と内皮細胞 TCの軸ずれについて BCとPOWERの関係(HCL) 座学		
	10	臨床コンタクトレンズ(山田)	SCL合わせの理論と実際(グループ実習)①		
	11	臨床コンタクトレンズ(山田)	SCL合わせの理論と実際(グループ実習)②		
	12	臨床コンタクトレンズ(山田)	SCL合わせの理論と実際(グループ実習)③		
	13	臨床コンタクトレンズ(山田)	HCL合わせの理論と実際		
	14	臨床コンタクトレンズ(山田)	HCL合わせの理論と実際		
15	HOYA(山本)	加齢による眼の特性変化			

	回数	履修主題	履修内容
	16	HOYA (山本)	多様な累進レンズ設計と見え方の違い(テストレンズによる体験)
	17	HOYA (山本)	累進帯長、加入度や単焦点と近近レンズの違い(テストレンズによる体験)
	18	HOYA (山本)	処方箋記入情報、芯出し位置、加入度、度数測定
	19	HOYA (山本)	レンズマーク、調節サポート(マークと印字の確認実習 サポートレンズ体験)
	20	HOYA (山本)	アイプロテクション、視感透過率、ブルーライトカット IOL挿入者対応、遠点近点(テストレンズ装用時)
	21	特殊コンタクトレンズ (専任教員)	症例別 円錐角膜
	22	特殊コンタクトレンズ (専任教員)	症例別 虹彩付SCL
	23	コンタクトレンズについて (専任教員) オフテクス	コンタクトレンズケア

授業科目 (科目ID)	生理光学Ⅲ 21n208	担当教員 (実務経験)	山本 晋 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> レンズエキスパートとして眼鏡に関わる業務に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	2年・前期	担当教員	川岸 寿幸
授業形態	講義・実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	佐久間 愛
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	佐藤 幸恵
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	四宮 敦志
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	松田 理恵
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>